

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏 - 1	(2) 記載者氏名:	植木 信久	会員番号:	12894	事務局整理記入欄	山遊会 - 01
分水嶺区分	E334大川峠～E336男鹿岳	(3) 山行日:	2004年 11月 6・7日	(4) 天候	晴れ		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

永田弘太郎	12319	土田常次	13665	植木信久	12894	辻橋明子	12226
岡田陽子	13463	斉藤知茂	13839				
植木淑美	12895	武藤朋幸	12205				
菅原紀彦	12309	牧田一雄	13652				
				計	9名	計	1名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	大川峠まで車～栗石山～男鹿岳～栗石山～大川峠												
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大川峠	栗生沢											
分水嶺到達点E334	大川峠	栗生沢	139	49	9	37	6	5	1,259		6:10	B-2	
E335	栗石山	栗生沢	139	49	11	37	6	4	1,701	8:25	8:45	B-3	
E336	男鹿岳	日留賀岳	139	49	19	37	5	6	1,777	9:30	10:05	B-3	
	(引き返す)												
E335	栗石山	栗生沢							1,701	10:50	11:05	B-3	
分水嶺離別点E334	大川峠	栗生沢	139	49	9	37	6	5	1,259	12:30	13:30	B-2	
歩行終了点	大川峠	栗生沢											
										総歩行時間(休憩時間を除く):	5時間20分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E335	栗石山				三角点見当たらない
E336	男鹿岳	3		良	降雪量多いためか三角点標石が長い

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

栗石山(1701m)山頂にはオオシラビソの木にM型の青色で小さなブリキの標識板あり。
男鹿岳山頂は三方向に(大川峠、山王峠、ひょうたん峠)尾根が派生し視界不良時には要注意、 県境石杭がかなり多く目に付く。

(9) 水および植生に関連した特記事項

フナの大木、オオシラビソ、ミスナラ、の原生林。熊笹、根曲がり竹の植生が多い。
水無川の源流、栗生沢經由阿賀川に合流

(10) その他の特記事項

原生林に囲まれ藪漕ぎで難儀する山域、過去遭難者多い
1週間前(2004年10月30日)一般登山者2名凍死
2004年10月23～24日2名(柴山武:会員No.12097と植木信久)で下見踏査済み、10/23夕、中越大地震でかなりの揺れ感じた

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
大川峠での記念写真
男鹿岳山頂で

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



大川峠での記念写真



男鹿岳山頂で